

八王子地区

保護司会だより

～特集 新年度を迎えて～

第123号

令和7年9月10日発行

発行 八王子地区保護司会

編集 広報部

電話 042-657-4928

就任のご挨拶

会長 佐藤 順一

このたび、八王子地区保護司会会長を拝命いたしました佐藤でございます。長年にわたり地域の更生保護に尽力されてきた諸先輩方のご努力に深く敬意を表するとともに、その重責を担うにあたり、身の引き締まる思いでございます。

現在、八王子地区保護司会においても保護司の減少傾向にあり、また現代社会と共に高齢化の進行が大きな課題となっており、活動の継続性が問われております。こうした状況を踏まえ、今後は若い世代や女性の積極的な登用に努め、多様な視点と力を結集して女性でも安心して保護司活動ができる環境整備（面接場所などの充実）などを含め動きやすくなるよう、八王子市役所や他の公共団体と協力し共に地域に根ざした保護司活動を推進してまいります。

また、時代とともに更生保護のニーズも多様化・複雑化しています。デジタル化や地域連携の強化も図りながら、時代に即した柔軟で持続可能な組織運営を目指してまいります。

今後とも、皆様の温かいご理解とご支援を賜り、保護司会の永続的な発展と、誰もが安心して暮らせる社会の実現に向け、全力を尽くす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副 会 長

副会長 青木 隆夫



所属は中央分区、担当は広報部と学校委員会です。初任が平成16年9月ですから、保護司となつてから20年以上となります。最初の頃は仕事もそれなりに忙しかったので、組織活動へはなかなか参加

できませんでした。その頃は対象者もずいぶん多く、時には引き受けてしまったこの職を疎ましく思ったものです。しかし、分区の先輩、仲間たちとの交流が励みとなり、どうやら続けることができました。

また、図らずも副会長を今期も継続することになりました。これからは時間と身体の許す限り頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

副会長 中川 常彦



この度、副会長を拝命致しました中川常彦でございます。私は研修部長を務めさせていただいた関係から研修部担当副会長となりました。

研修部ですから研修を行うのはあたりまえのこと

ですが、その中に定例研修での保護司委嘱状の授与式がございます。法務大臣からのものですから、保護司のひとつのけじめとして大切に考えております。継続は当たり前ではなく、中には継続されない方も当然おられるのですから。

先日、顧問相談役会議が開催され、先輩の方々から貴重なアドバイスを頂戴いたしました。役員

の若返り、その他課題はたくさんございます。大変微力ではございますが、しっかり頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

副会長 八木 光司



令和7年度より副会長を務めます、八木光司と申します。高尾分区所属で平成20年に保護司になりました。保護司になる前は、勤めをしながら住まいの近くの棚田小学校で評議員を務めており、

現在は学校運営協議会会長を務めております。令和3年度より高尾分区長を2期4年させていただきました。令和7年度より副会長を務めることとなりました。会員皆様方のご協力を頂きながら務めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

何でも聞ける、話せる保護司会にしていきたいと思っております。また、これからは「保護司ってなに」ではなく「保護司さん」と呼ばれるようにしていきたいです。

副会長 宮野 園恵



今年度の定期総会において、副会長に選任されました。身に余る大役に、緊張の連続です。

私は保護司を拝命して以来、特に心がけておりますことは、新任研修で学んだ「傾聴」という言葉

です。今後の活動においても常に心がけていこうと思います。

非行・犯罪が複雑化している昨今、益々関係機関の皆様のご協力を求めながら、保護司が安心して活動が続けられるように、微力ながら努めてまいりたいと思っております。

今年度の社会を明るくする運動には、昨年から子安地域の「市立いずみの森義務教育学校」の中学生が、八王子駅南口周辺地で清掃と啓発運動に参加しています。学校がこの運動に理解を寄せてくださっていることに意味がある、と感銘を受けています。

保 護 観 察 所

東京保護観察所立川支部長

吉原 直深



ある番組で、
「犬を飼っている
高齢者は認知機能
の低下が少なく元
気だ。」といった
統計結果を報告し
ていました。犬と
一緒に散歩をする
ことが運動になる、
犬の散歩をしてい

る人同士の交流が認知機能を活性化させるとい
った理由のようです。

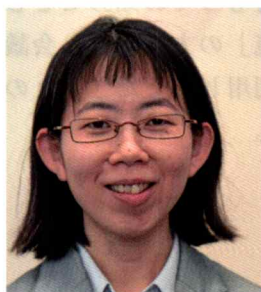
確かに動物との暮らしは、身体面のほか社会的
な面にも大きな効果があります。しかし、動
物というツールに限らず、心身の健康を維持す
る手段は、他にもいろいろありますよね。

皆さまは、いかがでしょうか。趣味や楽しみ
など、多くの手段を得ていることと思います。
そして、保護司活動も、自宅外での活動による
適度な運動、保護司同士の活発なコミュニケー
ションなど、心身の健康維持に大きな効果を発
揮していることと思います。そうした効果も実
感しながら、今後も楽しく活動を継続してい
ただければ幸いです。

さて、私も引退後に打ち込む心身の健康維持
活動を考えています。登山は体力維持にはいい
が、他者との交流は少ないか、などなど。

当面は、仕事を健康維持活動の一つとして、
皆さまとともに頑張りたいと思います。

中央・高尾分区 保護観察官 井澤 祐美



はじめまして。本年 4
月より八王子地区（中央
分区・高尾分区）を担当
しています井澤祐美と申
します。

私は大のコーヒー好き
です。子どもが保育園の

頃、「おかあさんは、コーヒーをのみすぎてま
じょになってしまいました」という絵を描いた
ほど（笑）。コーヒー豆のルーツや生産者さん
のこと、このコーヒーはこのマグカップに到達
するまでどれほどの長旅をしてきたのだろうか
…etcと日々思いを馳せながらコーヒーを大切に
いただいています。

一杯のコーヒーを片手に、先生方とケースの
ことを話し合いながら対象者のことにも思いを
馳せていきたいです。よろしければ、私とコー
ヒートークをしませんか？どうぞよろしくお願い
します。

みなみ分区 保護観察官 青木 沙織



今はまっているもの。
それはバレーボール。表
彰台を目指し、熱い戦い
を繰り広げる日本代表選
手たちに、生きる張りを
もらっています。

運動はまるでだめ、音
楽の才能もなし、芸術の
センスもない、そんな私は、昔から自分が何か
をするよりも、頑張る人を応援したりサポート
したりすることに喜びを感じます。他力本願！

大学時代はサッカーサークルでマネージャー
をしていました。先日そのサークルの60周年行
事に参加した際に、ふと、保護観察の仕事を選
んだのは、マネージャーをやったのと同じ理由
なのかも、と思いました。頑張る人を応援し
（頑張らない人も多いけど）、一緒に喜べる、
そこに魅力を感じるのかもしれない。



東・西分区 主任保護観察官 伊藤 真紀子



私の最近の趣味のひとつに、「日本全国を旅して、その土地の銭湯に入る」というものがあります。風呂場にカコーンと響く音と、ご当地訛りの会話を聞くのがなんとも心地よく、広いお風呂で

足を思いっきり伸ばしながら、旅情に浸っております。

全国的に銭湯が苦戦している中、若い子達が工夫を凝らして銭湯を盛り上げているところもあり、老若男女問わず賑わっている銭湯をみると、銭湯がその街の貴重なコミュニティを担っていることに気がつきます。

八王子を担当して3年目になりましたが、まだ八王子の銭湯には行ったことがありません。もしおすすめの銭湯がありましたら、ぜひ教えてください！

東京保護観察所立川支部について

東京保護観察所本庁は管内24保護区（23の特別区及び島部保護区）を管轄し、立川支部は、多摩地区26市3町1村、9保護区（下記①～④第6ブロック、⑤～⑨第7ブロック）を管轄しています。支部長以下4名の統括保護観察官、23名の保護観察官、および6名の社会復帰調整官が在籍しています。保護司数は令和7年6月現在921名で、八王子地区は135名となります。

【保護区】①八王子、②町田、③日野・多摩・稲城（日野市、多摩市、稲城市）、④西多摩（青梅市、羽村市、瑞穂町、福生市、日の出町、あきる野市、檜原村、奥多摩町）、⑤北多摩東（武蔵野市、国分寺市、小金井市、三鷹市）、⑥北多摩西（武蔵村山市、東大和市、昭島市、立川市、国立市）、⑦調布狛江（調布市、狛江市）、⑧府中、⑨北多摩北（清瀬市、東村山市、東久留米市、西東京市、小平市）

また、多摩地区保護司会連絡協議会（多摩連）も立川支部と同じフロアにあり、多摩9地区の保護司会の情報交換を行い、連携を密にし、保護司活動の充実をはかるために組織されています。その活動状況は以下のホームページをご覧ください。

<https://www.bz-jpn.com/tamaren/index.html>

住所：立川市緑町6番地の3立川第二法務総合庁舎2階

分 区 長

中央分区長 柴田 健彦



令和5年より中央分区長をしております。エリアは八王子市役所を西端に中央線、国道16号、中央高速道に囲まれた地域となっております。面積的には狭小ですが、事業所、集合住宅が集積されて

いる特徴があります。コロナ禍が過ぎ、人の流れが回復してきて、事案数が増加の傾向にあるように感じます。

職場つながりで中央分区登録する会員が一定数おります。事業所会議室等で安全に面接を行いたい等の要望を受けて入会時に調整を図っております。分区役員会議、全体会議を年各4回実施しております。極力、事後懇談の場を設け、情報交換に努めています。世間話から法曹ジャンルのテレビの話、若者文化の流行事象などなど。情報強者を目指して、みなさんと活動していきたいと思っております。

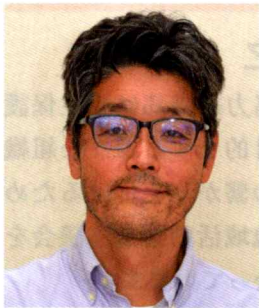
東分区長 秋山 重男



令和7年度、8年度の新体制も一歩ずつ歩みだしました。東分区では、新保護司も加わり6月1日現在25名のメンバーで活動を行っています。

東分区には、「自愛会」及び「紫翠苑」の更生保護施設があります。「自愛会」は令和9年度、1年間をかけて新築工事が入ります。この間は、全面改装ですので、会議や面接について利用ができませんので、前もってお知らせをしておきます。幸い「紫翠苑」の方からは、会議室・面接室等々遠慮なく利用してくださいとのことをお言葉をいただいております。

高尾分区長 黒沢 栄



今年度高尾分区の分区長に就任致しました黒沢と申します。その職責に身の引き締まる思いです。高尾分区は、この5月に新任の2名を迎え、現在男性19名女性7名の計26名が在籍しています。皆

で懇親を深め楽しくコミュニケーションを図りながら活動してまいりたいと思っています。

どうぞよろしくお願いいたします。

西分区長 石森 康夫



49歳で保護司となり23年間様々な対象者と向き合ってきました。

無期懲役の仮出獄者、薬物常習者、性犯罪者、非行少年少女等々そのいずれにも全力で取り組み一部の例外をのぞき更生

の道に導けたことは自らの誇りと思います。

他方保護司会運営にあつては協力組織部長、地域活動部長を経て令和5年より西分区長をつとめています。分区会の主たる目的は理事会（常任）の審議決定事項を分区の皆様伝える

事と考え年間スケジュールをあらかじめ指定し皆様に参加を促しています（直近の出席者30名中24名、80パーセントの出席率）。他に分区忘年会、管外研修等々を企画して会員相互の親睦交流をはかります。また令和12年までに13名の保護司が定年をむかえるため新保護司の発掘が喫緊の課題となります。令和5、6年には3名を推薦、今年度も複数名の推薦を目指します。

みなみ分区長 萩生田 元章



令和7年度よりみなみ分区長になりました萩生田です。保護司を拝命して20年あまりになります。色々な事を諸先輩方から学んできましたが、今でも保護司って本当に難しいと毎日感じています。

日を追うごとに多様化している事案とそれぞれの家庭環境の変化に私自身、理解が追いつかない状況です。

そんな中で今年度からみなみ分区長として少しでも分区の皆さん、保護司会の皆さんの足を引っ張らない様に努力していきたいと思っています。1年目の新人分区長です。宜しくお願い致します。

国際更生保護ボランティアの日 高尾分区 加藤 正道

「国際更生保護ボランティアの日」は、毎年7月23日に定められている公式な国連の国際デーです。世界各地で記念行事が行われています。制定の経緯は、保護司等の更生保護ボランティアの役割が世界的に注目され、その功績を国際的に認め、広く普及啓発するための記念日として設けられました。

日本では、「4月17日」を記念日として顕彰行事を行っています。これは、自国の更生保護にゆかりのある日を記念日として位置づけようとしたため、この日は、昭和25年に「保護司法」が公布・施行された日にあたります。

2024年に日本で開催された「世界保護司会議」において、参加した各国も4月17日を精神的記念として共有する宣言がなされています。

2025年4月17日には、都庁周辺で記念式典や広報パレードが開催され、都内から保護司ら約500名がパレードに参加しました。また、都庁のプロジェクトマッピング、スカイツリーのイエローライティング、各地区でのシンポジウム、書店での関連フェアなども行われました。



部 会 ・ 委 員 会

総務部長 尾 崎 敏 夫



令和元年度に総務部長の職に就かせていただいたから、早や4期、7年目となります。これまで、三入元会長や前田前会長と令和3年には「第6ブロック組織運営連絡協議会」の担当、令和5年には「八王子地区保護司会設立40周年記念誌」の作成、令和6年には「東京更生保護事業関係者顕彰式典」を開催するなど、総務部の皆さんと様々な経験をさせていただきました。

今年度は、再び「第6ブロック組織運営連絡協議会」の担当地区となります。八王子地区の皆さんには、当日の運営をはじめ、多くのご協力をお願いすることになりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

今年度は、再び「第6ブロック組織運営連絡協議会」の担当地区となります。八王子地区の皆さんには、当日の運営をはじめ、多くのご協力をお願いすることになりますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

研修部長 田 畑 修



この度、八王子地区保護司会研修部長に就任致しました田畑修と申します。前任の中川常彦部長（現副会長）の後を受け、微力ではありますが、一生懸命努めますのでご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

い致します。

私が保護司を委嘱されましたのが平成30年5月、以後、コロナ禍をはさみながら、各事案を経験して参りました。その上で思うことは、対応に悩んだ時などに、定例研修で講師の保護観察官から言われた言葉、出席された保護司の方のある経験談が非常に活きているということです。研修には資料をただ読んだだけでは得られないものが沢山あります。私にできる事は限られますが、各種研修が「行って良かった。」と保護司の皆様にとって頂けるように陰ながら努力したいと思います。

協力組織部長 河 井 孝 之



協力組織部は更生保護を目的とする様々な組織との繋がりをつけるために地域活動推進協議会を行なっています。

昨年は「非行」と親たちの会（あめあがりの会）の講演と話し合いが行われました。わが子の非行・問題行動で悩んでいる親と子供に関わる人たちの会です。

今年は「ダルクについて」特定非営利活動法人八王子ダルクの加藤隆氏を講師に迎え、お話をさせていただきます。ダルクとは「薬物依存症」から回復して社会復帰を目指す民間のリハビリ施設です。

また、協力事業主会と一緒に他地域の事業主会や保護司との交流を考えています。今回は町田の事業主会や保護司を事業主会の総会にお呼びしてお話を聞きました。

学校担当委員会委員長 後 藤 貴 弓



学校担当委員会は、青少年の問題行動対策、犯罪や非行防止のため学校との連携を図る事を目的として、平成14年7月「学校サポート委員会」として発足しました。現在は、各分区より3名～4名選出していただき、17名での活動となっています。

家庭や地域の子育て機能・教育力の低下が指摘される中、児童・生徒を取り巻く環境の変化を理解するためには、学校との信頼関係を築く事が重要です。地域全体で子育てや教育に取り組む体制の中の一員として、学校運営協議会委員になっている保護司も38名います。昨年度末には、学校運営協議会委員になっている保護司で、学校との関わりについて意見交換を行いました。

八王子市内には小中学校が106校、義務教育学校が1校あります。各校には、担当の保護司がいてできるだけ学校との連携を図るようお願いしております。保護司の仕事は、犯罪を犯してしまった方の更生保護が重要な職務ですが、犯罪の未然防止のためにも私たち保護司も地域の一員として、教育活動に少しでも協力していきたいと思っています。

保護司の仕事として、児童生徒に直接関わる事は少ないとは思いますが、青少年の問題行動等を理解し、犯罪や非行を防ぐためにも学校との連携は、今後も重要な活動の一つではないかと考えています。

地域活動部長 小俣 博照



この度地域活動部長を拝命致しました、東分区分小俣博照でございます。地域活動部は保護司を拝命し最初に所属した部でしたので出戻りです。

当初は保護司の役割、仕事の内容も分からず先輩諸氏の助言を頂きながら何とかやっておりました。今回は2度目と言う事もあり少しは把握が出来ており何とか全う出来ると思います。地域活動部最大の仕事の社明運動の駅頭につきま

しては、保護司の皆様が参加し易い環境を市の担当者と引き続き協議をしまいいります。今回の社明運動（駅頭）も何度も担当職員と協議を重ね大筋は変える事が出来ませんでした、少しは改善されたと自負しております。今後は保護司の先輩諸氏の意見をお聞きし、より良い方向に向けて行きたいと考えております。

広報部長 大久保 隆



読んでもらえる広報誌を作るのが1番大切です。もちろん保護司会活動を記録して行く事も必要ですが、広報誌はなるべく読み易い文章で人間味が出る表現をしています。

そして今、保護司に必要な特集コーナーを設けています。広報部は「保護司会だより」を出すだけが仕事ではありません。昨年はFM八王子で1カ月間番組を持ちました。「保護司ってなに？」をテーマに更生保護に携わる方々を毎週ゲストに招き喋ってもらいました。少しでも保護会活動を知ってもらうために。また八王子保護司会の中でアンケートを取り特集号を出しました。

我々広報部は、次の号を待ち望まれる広報誌を目指して皆さんで頑張っています。

「先輩！教えてください！」

先日の意見交換会でも話題に上がりましたが、保護司になって、不安だったり、疑問をもたれている方が多くいらっしゃるということでした。特に保護司になって年数が浅い方は、誰に聞いたら良いのか？こんなこと聞いて良いのか？と、不安に思っています。

そこで、今回、新任の保護司の皆さんに聞いてみました！ぜひ、この質問に対しての回答、体験談などをお寄せください、次号に掲載いたします。また、質問がある方もぜひお寄せください！

【新任の保護司の皆さんからの質問】

- ・初めて対象者に会うときにどんな顔で行けばよいのでしょうか？軽んじられたりしないように毅然と振る舞うべきなのでしょうか？
- ・対象者と口論になったりしませんか？そんなときどうしたらいいのでしょうか？
- ・対象者が再犯をしてしまうこともあると思います。それを考えると自分で良いのかと不安になりそうです。
- ・保護司であることによって嫌な思いをしたことはありますか？逆にうれしかったことはありますか？
- ・対象者が次の面接の日時を2日前に連絡してきました。市民センターの予約ができない場合があるので、その場で都合を合わせて決めたいのですが...、どのように話したらよいでしょう。対象者は学生でADHDで通院しています。
- ・引受人や保護者と町中で偶然会って話した場合、保護観察所に報告しますか？

サポートセンターへFAXまたはメールにて、「広報誌 質問コーナーへの（回答・質問）」と件名を記載してください。
応募先：保護司会広報部宛 FAX：042-697-7616 Mail：cbb24351@jcom.zaq.ne.jp

新任保護司の紹介

西分区 滝島 聡治



この度、私の父からの薦めと、地域からの依頼を賜り、保護司をお引き受けすることになりました。「保護司」については名称程度しか知らず、制度や実務としてどんなことをするものなのか理

解しておりませんでした。お引き受けするにあたり、いろいろとご指導いただきながら、徐々に理解を深めている最中です。

私自身が大した人間でもなく、真面目に生きてきたとは到底言えない人生を送っていることもあります。何より他人様を導くことができるのかという不安が付きまといまいます。ですが、いただいた役割を全うするべく、真摯に向き合っていきたいと思います。

専門的なことや、実際の活動については何も分かりませんが、この活動を通じて社会のお役に立てるなら幸せだと考えています。

みなみ分区 鈴木 俊子



法務省での伝達式を無事に終え、保護司として歩み始めました。推薦をしていただいた大先輩の八木雅子先生からいつも温かい御指導を受けております。何もかもが初めての経験で分からないこ

とばかりですが、インターンシップの時に保護司の諸先輩方と大栗川清掃をした体験が不安だった私の気持ちを解き放ってくれました。皆さんとても温かくユーモアに溢れていたからです。以来ごく自然に道端を清掃する日々です。普段は都立高校で国語を教えています。保護司をしていた父の真面目な後ろ姿を追いかけて日々学びながら頑張る所存です、よろしくお願いいたします。

西分区 飯沢 隆秀



令和七年五月より保護司の任をお預かりしました萩の寺長福寺の飯沢隆秀と申します。

まだ着任間もなく保護司の活動を実際に経験したことはございませんが、役割の重さや難しさを実

感している所でございます。元より浅学非才の身である私に務まるものと心配しておりますが、先輩保護司の先生方から大変貴重なお話は、私の保護司活動の道標とさせていただきます。

「有難い」、「おかげさま」の感謝の心を私生活において少しでも理解して頂き、心の成長の一助となれるよう取り組んで参りたいと考えております。初心を忘れずに今後も精進して参りますので皆様のご指導を賜りますようお願い申し上げます。

合 掌

高尾分区 山田 弘志



新しく保護司になりました山田弘志と申します。

普段は外資系企業で働いています。最近は早起きし、明け方からランニングす

ることにハマっています。

転職や結婚、子育て、地域活動への参加、そして離婚と人生の中で何度か転機があり、そのたびに自分とは違う考え方を持った人や新しい価値観を持った人との出会いを通して、視野を広げてものを見ることが大切であることを学んできました。私にとって保護司は全く未知で、新しい世界ですが、これまでの経験を活かし、広い視野をもって、飛び込んでみたいと思います。そして願わくは、役に立ったと言ってもらえるそんな保護司を目指します。

どうぞよろしくお願いいたします。

高尾分区 池田 章子



5 月に保護司の委嘱を受け、身の引き締まる思いでいます。早速、生活環境調整担当通知が届き、先輩保護司同行のもと対象者の引受人への訪問を行いました。事前に主任官からの詳しい調査、調

整に関する資料があったので安心して面接ができました。また、先輩保護司の方がサポートして下さったので助かりました。どこまで踏み込んでよいか、伝えるべき事、共有する事が分かり大変勉強になりました。

「人は一生社会貢献」との母の言葉を胸に、保護司だった祖父と母の志を継いで活動していきたいと思っています。

東分区 山本 茂浩



令和 7 年 5 月 15 日に、保護司を拝命いたしました山本茂浩と申します。どうぞ、よろしくお願いいたします。これまでは、約 40 年間生徒の健全育成に努めて参りました。教育業界では、保護司の皆

様方に地域の様々な行事や生徒の健全育成においても大変お世話になってきました。今後は自らが、保護司という新たな立場をいただき身の引き締まる思いでいます。

二回の研修を受講する中で、少しずつではありますが、保護司という立場の大変さが理解できつつあります。今後は、諸先輩方からの御指導を仰ぎ、社会の一員としてお役に立てればと考えております。引き続き、御指導と御鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

みなみ分区 川合 京



令和 7 年 5 月 15 日付で保護司を拝命しました。かねてより、現在の仕事での経験と学んだ心理学を活かしたいと考えていたところ、知人が保護司の活動内容を示してくれ、心に深く残ったことが

きっかけで志望しましたが、改めて自身の言動に対する責任を感じています。机上の知識と実際の経験値には大きな差があると思いますが、一人ひとり丁寧に温かく寄り添えるよう心がけたいと思います。

長年にわたり保護司としてご尽力されている諸先輩方の隣に並ぶのは、身の引き締まる思いですが、皆様から多くのことを学ばせていただき、一日も早くお役に立てるよう努めてまいります。ご指導ご鞭撻のほどどうぞよろしくお願い致します。

みなみ分区 高橋 恵子



この度、新たに保護司に着任いたしました。

保護司の活動は初めてのこととなりますが、人とじっくり向き合うことが好き

です。日頃より人と向き合う仕事をしており、一人ひとりの背景や想いに寄り添う姿勢を大切にしています。一人ひとりの歩みに寄り添いながら、共に前を向いて進めるよう支えていきたいと考えております。

保護司としての責任の重さを感じつつ諸先輩方に相談しながら、支援を必要とする方々に寄り添い、社会復帰への一助となれるよう誠実に取り組んでまいります。地域の皆さまと連携し、温かい信頼の輪を築いていけるよう努めてまいります。

どうぞよろしくお願い致します。

「令和7年度定期総会を振り返って」

令和7年度の定期総会は、4月21日、昨年度に引き続き生涯学習センターの5階ホールにおいて開催しました。定期総会では、令和6年度の事業報告・決算報告・監査報告を行うとともに、令和7年度の事業計画・予算(案)等が審議され全ての議案は承認されました。

また、今年度は新たな試みとして議案審議終了後に講演会を開催しました。市内在住の「大久保長安の会」代表の鈴木泰氏に、「大久保長安のまちづくりと佐渡金山」と題して講演していただき大変好評のうちに定期総会を終了することができました。

定期総会は、地区保護司会のこれまでの活動実績を踏まえて、新たな年度の活動方針等を決定する重要な会議であるとともに、新年会と同様に保護司相互が連携し合い、コミュニティを醸成する数少ない重要な機会と考えています。

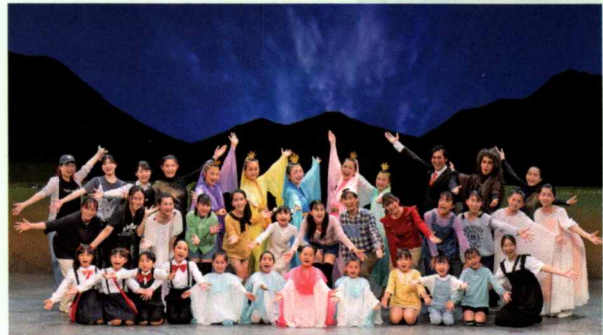
来年の定期総会は、4月26日曜日の午後に開催を予定しています。コロナ以降、総会終了後の懇親会は開催していませんが、多くの皆さんの出席をお願いします。

総務部長 尾崎 敏夫



「八王子こどもミュージカル」に協賛しました！

「八王子こどもミュージカル」とは小学校1年生から高校3年生まで、現在32名が所属している劇団です。毎年、地域でミュージカルを上演、今年は第20回記念公演として、8月9日(土)にいちょうホールにてミュージカル「なんなんとうに雪が降る」を2回上演、約1,300名の来場があったということです。八王子市HPに中学生部活動改革「子どもたちが参加できる地域活動の団体」としても紹介されている情操教育を目的とした劇団で、今回「八王子地区保護司会」として、協賛をしました。



「こども」と、侮るなかれ、舞台装置、音響、メイク、衣装すべて本物で、プロにも劣らない劇団でした。多くの観客の前で堂々と、演技、歌、ダンスを演じ、観客を魅了しました。息がぴったり合い、自信に満ち溢れたステージ上の子どもたちの姿の裏には、多くの努力があったことがうかがえます。カーテンコールでは観客も思わず涙が湧いてきてしまうほどの劇団員の笑顔が印象的でした。2026年は8月30日(日) いちょうホールにて上演予定。ぜひ、観に行ってください！

広報部 荒木 美奈

□観劇レポート1: 子供ミュージカルと言うと、名前のとおり子供がミュージカルやるんだという認識でいました。ところが始まってみるとクオリティの高さにグイグイ引っ張られてしまい凄く感動しました。一年かけて一所懸命練習した姿が目に見えます。子供達が目標を持って一途になることはとても良いことですね。(大久保隆)

□観劇レポート2: 八王子こどもミュージカルの公演を観させていただくのは今回が初めてでした。小学生から高校生までのお子さま達が皆、全力で役を演じていて、その力強さに心を動かされました。沢山の練習と皆の協力、助け合いがあってこそこのミュージカルの完成があるのだと思いました。お子さま達の最高の頑張りを間近で感じ、私も日々頑張らないといけないなと生きる力をもらいました。(E.I)

編集後記

新年度、新体制で迎えた八王子地区保護司会だより第123号をお届けします。皆様の活動がより充実するよう、広報部新部員として尽力してまいります。ご意見・ご感想をお待ちしています。(清水隆)